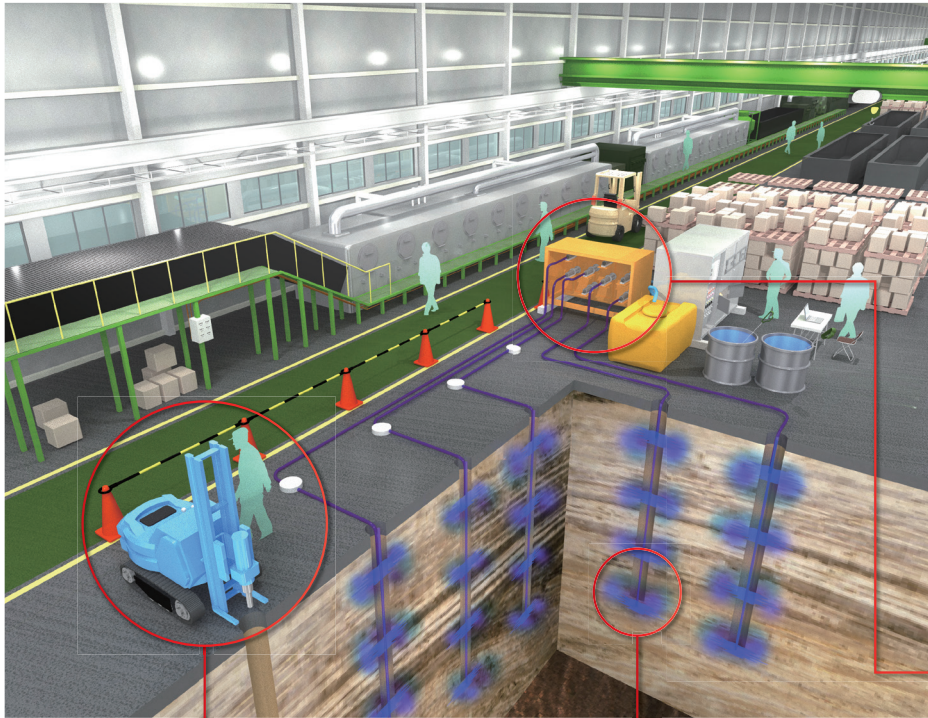


# 超多点バイオ工法<sup>®</sup>

複数の注入ノズルを地盤に配し、バイオ薬剤を同時に浸透注入する  
土壌浄化工法です。

## 超多点バイオ工法

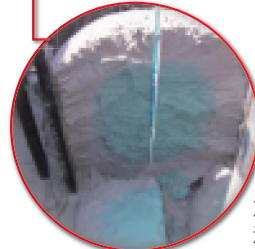


## 特長

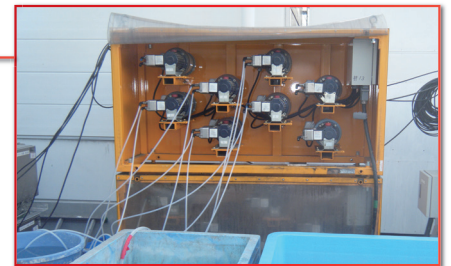
- ① バイオ薬剤が浸透しにくいシルト質の地盤においても施工が可能。
- ② 複数点同時注入（1ユニット：32連）が可能であり、ノズル毎に注入速度や圧力の管理が可能。
- ③ 注入深度を任意に設定できるため汚染箇所のみバイオ薬剤を注入することも可能。
- ④ ユニット化された専用システムにより、省スペースでの施工が可能。
- ⑤ 建屋基礎直下、稼働中工場内での施工が可能。



削孔状況

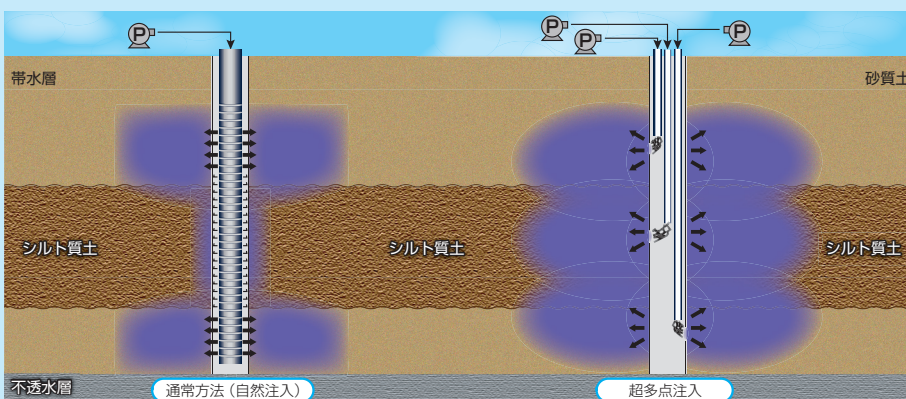


注入後の地盤断面  
注入液は地中で球状に浸透



注入プラント

## 注入施工イメージ



通常の方法では、井戸のスクリーン範囲から注入されますが、注入液の浸透はスクリーン範囲内で透水性の良い部分に限られます。

(汚染を多く含むシルト質土に浸透しない)

超多点注入は透水性の低い粘性土であっても、浸透注入により地中にバイオ薬剤を浸透させることができ、汚染物質を分解する環境を形成することができます。

\*超多点バイオ工法<sup>®</sup>は強化土エンジニアリング㈱との共同開発による土壌浄化技術です。